

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「生協くまもとSDGs行動宣言」に基づき、組合員と職員が一体となった学習と取り組みを進め、事業運営と地域社会への貢献に活かします。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	買い物支援の取り組みを広げ、お買い物サポートカーの稼働台数を増やす。	サポートカーの稼働台数 2023年度 18便(登録者80名) ⇒2026年度 20便(登録者100名)
☒ 環境 ☒ 社会	フードドライブや食品ロス削減の取り組みを推進する。	2023年度1,906点 ⇒2026年度2,000点
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・階層別研修を強化する。 ・次世代を担う幹部職員の育成やスキル育成の為、積極的なジョブローテーションや人材育成の場を設ける。	・階層別研修の実施 2023年度2回 ⇒2024年度4回 ・ジョブローテーションや人材交流回数 2023年度3名 ⇒2026年度6名
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	役職員の「認知症サポーター研修」の受講人数を増やす。 (2023年度末時点受講人数:599名)	研修受講人数 2023年度599名 ⇒2026年度650名
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	脱炭素社会の実現、再生可能エネルギーの拡大を目指し、コープでんきの組合員普及を目指す。	コープでんき組合員利用者数 2023年度39名 ⇒2026年度 520名
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	県南地区の店舗で回収した牛乳パックと食品トレーのリサイクル益金により小中学校へ環境配慮型トイレトパーパーを寄贈する。	トイレトパーパー寄贈数 2023年度90個 ⇒2026年度 100個
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	コープのお弁当宅配(配食事業)は福祉や見守り活動、お買い物サポートの視点をもって取り組みに繋げる。	遇当たりの利用者数 2023年度 1,051名 ⇒2026年度 1,236名

<パートナーシップ>

県内各自治体と「見守り」や「災害時の物資供給」「包括連携」は1県40市町村となり、締結率は9割を超え、今後の連携強化に努めています。

・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取り組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取り組みの状況	前期の指標	実績
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	エシカル消費及びSDGsの視点を持った商品企画を増やし、組合員及び組合員活動と一緒にSDGsの取り組みを前進させます。 ⇒ 媒体数の関係で目標は達成できなかった。	年間52回発行している無店舗カタログで行っているSDGs企画回数を現在の16回から28回へ増加させる。	17回掲載。
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	組合員と職員が一体となったSDGsの学習と取り組みを進めます。 ⇒「フードドライブ」の回収箱を常設した。	組合員と職員一体となった学習または取り組みの場を毎月行う。	コープ春日では毎月第3土曜日に限定していた「フードドライブ」の回収箱を常設。
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・コープ商品を中心に環境に配慮した製品を組合員へ供給しています。 ・生協エシカル消費対応商品について組合員の利用を促進しています。 ⇒レストランやカフェでの紙ストロー化に取り組んだ。	レストランでの紙ストローの導入100%を目指す。またレジ袋の削減、食品ロスの削減などを取り組む。	レストランとカフェでの全てのストローの紙ストロー化。

・「取り組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取り組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。